

令和5年度 【前期】 アンケート結果の考察

【保護者】

- 「学校は」の項目のほとんどが、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせると90%を超えている。学校の取組に対して評価していただいていると考える。
- 「子どもは」の項目では90%を超えるものが少なく、「外遊び」と「お手伝い」の数値が昨年度同様に低い。ただし、昨年度と比べると、「外遊び」が10、「お手伝い」が5ポイント増えているので、生活環境・習慣がコロナ禍から変化していると考ええる。
- 「家庭は」の項目では、昨年度同様に約83～97%が「よくあてはまる」または「あてはまる」と答えている。学校の取組に理解を示し、協力的であることがうかがえる。
- 「思いやり」の数値が、昨年度より4ポイント上がり、90%を超えている。家庭や地域の協力を得て、温かく見守ろうとしている成果と考える。
- ▲ 「特色ある教育活動」が1.5ポイント減って、90%を下回った。分かりやすい形で発信する必要があると考える。

【児童】

- すべての項目で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせると80%を超えているので、充実した学校生活が送れていることが分かる。
- 中でも90%以上の児童が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と答えている項目は8つあり、昨年度の5つを大きく上回っている。今年度90%を上回ったのは、「相手の気持ちを考える」「宿題や自主学習」「ゲームやスマホ」「早寝・早起き・朝ごはん」である。自分や友達を大切にしながら、規則正しい生活習慣を心掛けていることが分かる。
- 昨年度を大きく上回った項目の数値は、「外遊び」10、「宿題や自主学習」7、「ゲームやスマホ」7、「早寝・早起き・朝ごはん」10ポイントだった。児童の生活習慣について、家庭で気を付けていただいているおかげと考える。
- ▲ 「学校へ行くのは楽しい」は、昨年度と比べると3ポイント下がり、90%を下回ったので、教育相談等を行い、「楽しい」と思うことができない原因を取り除く努力をする。

【教職員】

- 90%以上達成できていたのは、22項目中12項目だが、100%が9つあった。学校の教育目標を実現するために、一人一人が様々な工夫をしながら取り組んだことが分かる。
- ▲ 「学力調査を授業に生かす」ことができなかったと思っている教員が多いので、今年度の結果の考察を行い、さらなる学力の定着を図っていく。
- ▲ 「時数の確保と計画的な学習指導」については、1学期に学校行事等が多かったことが原因の一つと考える。2学期以降、改善・努力していく。
- ▲ 「道徳教育」についても、約64%しか達成できていない。5年生での「自然体験活動」や人権委員会の「人権の花植え」などの活動を通じて、道徳教育の推進にも努めたい。